



美穂まちづくり協議会だより

令和4年

12月号



令和4年度美穂地区防災訓練 11月5日(土)実施

★訓練の前に鳥取市消防団美穂分団団員による、ガス大釜・バルーン・発電機の取り扱い実演を行いました。

◇災害避難時、大型イベントなどで使用できる炊き出し大釜の取扱使用説明と実演。

◇美穂地区への補助金を活用して購入した、多目的に使用できるバルーン(照明部分)・発電機(ガソリン、プロパンガス併用可)の取り扱い使用説明と実演を講習していただきました。

尚、この補助金は、地域の防災力強化に役立てるものである事とされている。

★防災訓練内容<高齢者等要支援避難者等受け入れ訓練>

◇美穂まちづくり協議会安全安心部・区長会・美穂地区公民館が一体となって、模擬避難者を設定し、実践を想定した訓練を行いました。
手順=災害発生時の避難所開設 → 避難者の受け入れ → 誘導

【訓練のねらい】 机上訓練から実践想定訓練へ

今回は、豪雨による『避難レベル3』が発令された。

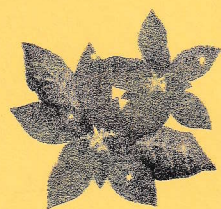
- ①美穂地区災害対策本部が避難所(今回は美穂公民館)を開設する。
- ②模擬避難者を立てて受付(受入れ)から、避難者の状態仕分けをし、所定の部屋へ誘導する。
- ③支援が必要な方を担架などで2階へ運ぶ実践。
- ④実践訓練から見えてきたこと、改善点を出す。

【訓練の効果】

- 美穂地区災害対策本部を開設して、次の行動規範などが実践できた。
- 机上訓練から実践訓練に切り替えて、諸問題、改善点などが出てきた。

【訓練後のあり方】

- 問題点、改善点の解決
- 豪雨災害避難、地震災害避難など
- 避難所内の運営訓練
- 自主防災会(各集落)との連携など



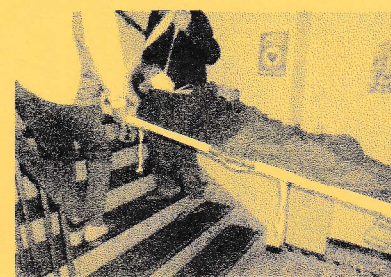
消防団による発電機操作訓練



机上訓練



避難者の受付



要支援者の誘導訓練



防災倉庫の備品確認

ふるさと健康ウォーキングラリーの開催

11月12日(土)9時より晴天の中、ふるさと健康ウォーキングラリーが開催されました。

今回は、江山学園9年生の生徒さんからの提案で、企画・準備を進めていただきました。当日は、中学生と地域住民48名の参加をいただき、4Km近い距離に設定されたチェックポイントでクイズを解きながら散策しました。

ポイントとなる下味野神社、玉屋神社、朝月神社では、9年生の考えたクイズに頭を悩ませたり、感染対策に気を付けながらのおしゃべりと、楽しいひと時を過ごすことができました。到着後、クイズの答え合わせに一喜一憂していました。

江山学園生徒 健康・福祉部
健康づくり推進委員会 美穂地区公民館

